

特別講演抄録

核医学を考える

九州がんセンター院長 入江 英雄

核医学なる医学が、一般医学の中に於て持つ領域、役割を考える。

簡単に言えば、核医学は、ラジオアイソトープを使用する医学の研究、診療である。

臨床核医学は、ラジオアイソトープ診療である。

ラジオアイソトープは、診断と治療の両面に用いられるが、同一の用法ではない。

このラジオアイソトープ診療が、臨床医学の他の診療手段に対して如何に対置されるか。

又他の放射線診療に対して、如何なる新生面を拓いたか。その特殊性は何か。

ラジオアイソトープ診療を含めて、放射線診療が持つ特殊専門性と一般性とに就て、包括的に考察する。

ラジオアイソトープ診療の将来の発展性とその方向は如何、

又障害面に就ても特殊の顧慮を要する点を論じなければならない。